

15 土地改良施設維持管理適正化事業交付金について

要望先:農林水産省

(1) 提案・要請事項

農地を維持し、地域の農業を発展させていくことは、地場産業の振興につながるだけでなく、食糧安全保障にも寄与します。

一方で、土地改良施設の老朽化が進行しており、大きな課題となっています。

定期的な整備補修を適期・的確に行い、施設の長寿命化を図ることで、施設更新にかかる経済的な負担を極力抑えることが重要になります。

効率よく施設の維持管理を進め、農地を守ることができるよう、愛知県や土地改良事業団体連合会との調整を行うとともに、予算においては、所要額の満額確保を図ることができるよう、引き続き、財政支援の継続をお願いします。

(2) 本町の現状・課題

ア 交付状況について

年 度	要望額 (千円)	内定額 (千円)	交付率 (%)	備 考
2026	18,450	18,450	100.0	鍋屋新田排水機場オーバーホール
2025	5,850	5,850	100.0	鍋屋新田排水機場オーバーホール
2024	11,700	11,700	100.0	成実新田排水機場オーバーホール

イ 交付金等により改善された状況について

農業用施設維持管理適正化工事(鍋屋新田排水機場)			
分解状況	分解完了	組立完了	完了
			

(3) 国の取組みとどのように一致するか

土地改良施設維持管理適正化事業は、「地域未来戦略」に示されている「持続可能な生活インフラの実現」に資するものであり、流域治水を推進します。

本町担当課:インフラ整備部土木管理課 部長:棚瀬 憲二 課長:静間 祐介
0562-83-3111 (doboku@town.aichi-higashiura.lg.jp)

16 移動手段の維持に関する財政支援等について

要望先:国土交通省

(1) 提案・要請事項

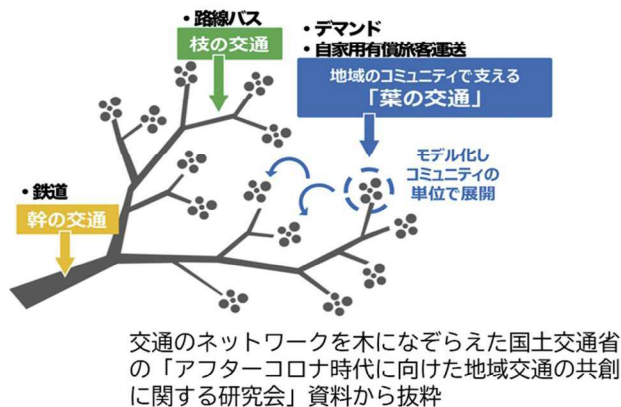
町村が取り組む共助版ライドシェア等の多様な移動手段の確保に対し、自動運転技術を搭載した車両の活用をめざしています。L4に向けた実証実験だけでなく、実装後も持続可能かつ柔軟に対応できる補助制度創設と必要な規制緩和をお願いします。

(2) 本町の現状・課題

町運行バスは、高齢者の通院や買い物など地域の生活に欠かせない移動手段の一つとなっています。高齢化が進む中、運転手不足や原油価格高騰の影響なども重なり、町運行バスの維持が困難となっている状況にあります。

一方で、外出に不安を抱える交通弱者等の移動手段を確保するため、共助版ライドシェアやオンデマンド交通等、地域の実情に応じた、公共交通の確保に取り組んでいるところです。

その対策の一つとして、自動運転車両の導入を目指しているものの、走行環境への適応、運転者・オペレーターの配置、さらには事故やトラブル発生時の責任の所在といった多様な課題が依然として残されています。さらに、持続可能な運行を実現するためには、財政的な負担が一層大きくなることが予測されています。



(3) 国の取り組みとどのように一致するか

本町が取り組んでいる共助版ライドシェアやオンデマンド交通等、地域の実情に応じた、公共交通の確保は、「経済財政運営と改革の基本方針 2026」の持続可能で活力ある国土の形成と「交通空白」の解消における地域の成長を阻む移動制約の打破に向けた取り組みや「地方創生 2.0 基本構想」の安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生における、「交通空白」の解消等に向けた地域交通のリ・デザインの全面展開と一致しています。

本町担当課:まちづくり部都市整備課 部長:三宅 伸裕 課長:小田 浩昭
0562-83-3111 (toshiseibi@town.aichi-higashiura.lg.jp)

17 水道スマートメーター導入推進と財政支援について

要望先:国土交通省

(1) 提案・要請事項

水道スマートメーターを導入することで、リアルタイム、遠隔での水量測定が可能となるため、漏水や異常使用などを早期に検知し、迅速な対応が可能になります。また、人手による検針作業が不要となるため、人員負担の軽減やコスト削減が実現します。

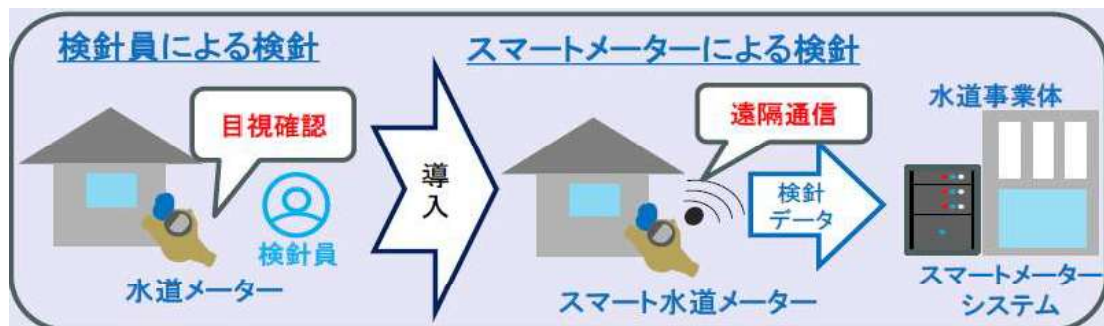
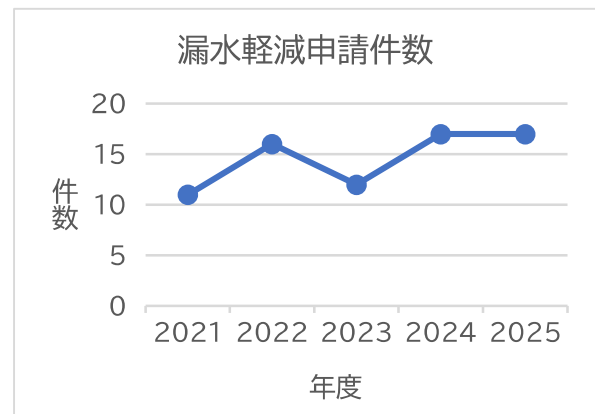
水道事業の DX や持続可能な運営を推進するにあたって、スマートメーターの導入推進及び導入経費に対する財政支援を充実強化していただきますようお願いいたします。

(2) 本町の現状・課題

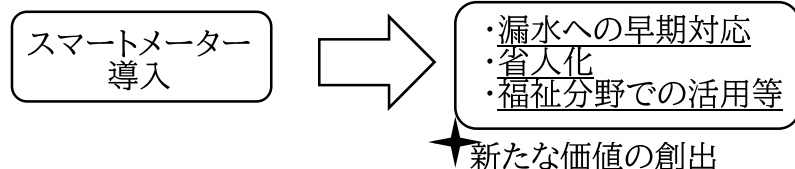
◆近年、各家庭や公共施設において、建物等の老朽化に伴う漏水事案が増加傾向にあります。

◆漏水への早期対応による利用者負担や環境負荷の低減、検針員の確保、検針業務の省力化が課題となっています。

◆現状、スマートメーターの購入費用は高額であるため、今後、導入するにあたって、全国的な普及促進策が不可欠と考えています。



出典:「水道分野におけるスマートメーターの導入促進について」国土交通省資料



(3) 国の取組みとどのように一致するか

スマートメーターの導入は、「地域未来戦略」に示されている「持続可能な生活インフラの実現」の方向性に合致し、水道事業の持続可能な事業運営に寄与するものと考えます。

本町担当課:インフラ整備部水道サービス課 部長:棚瀬 憲二 課長:新美 英二
0562-83-3111 (suido@town.aichi-higashiura.lg.jp)

18 上下水道施設に係る国庫補助制度の拡充について

要望先:国土交通省

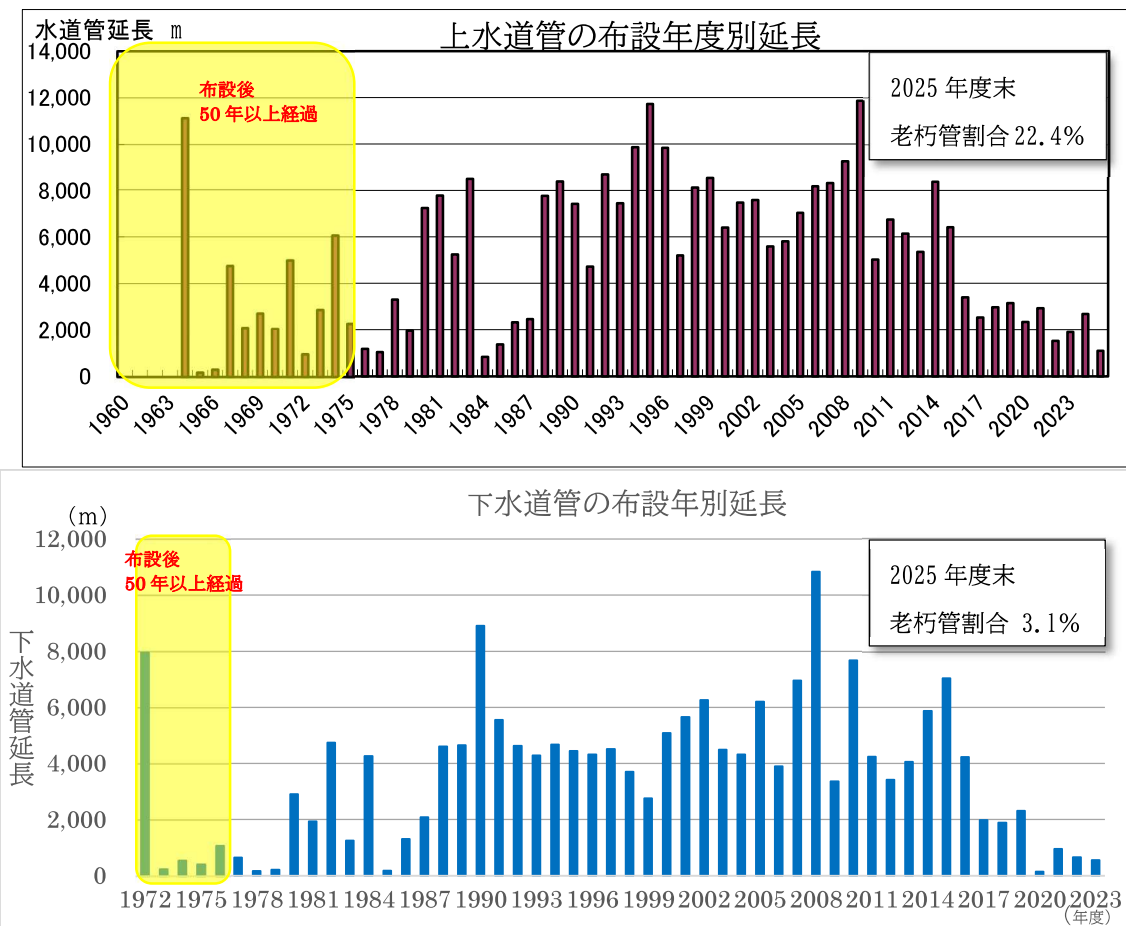
(1) 提案・要請事項

本町の上下水道管の更新が今後ピークを迎える中、社会資本整備総合交付金の活用は上下水道事業の持続的かつ健全な経営環境の確保を図るため、重要なものとなります。

そこで、上下水道施設の老朽化対策及び耐震化の推進が図れるよう、全ての施設を交付対象とすることや補助率の引き上げなどの国庫補助制度の拡充をお願いします。

(2) 本町の現状・課題

本町の上下水道管は 1990 年頃から集中的に整備されており、今後管路全体に占める老朽管の割合が増えてくることから、老朽化対策等を進めていくための財源確保が必要です。



(3) 国の取組みとどのように一致するか

上下水道などのインフラ老朽化対策・耐震化の加速化の取組みに資するものであり、「経済財政運営と改革の基本方針 2026」を具体化するための基本施策であると考えます。

本町担当課:インフラ整備部水循環管理課 部長:棚瀬 憲二 課長:横山 靖彦
0562-83-3111 (mizu@town.aichi-higashiura.lg.jp)

19 人材確保について

要望先:総務省、厚生労働省、こども家庭庁、国土交通省

(1) 提案・要請事項

東京一極集中により人口流出が進み、地方公務員の人材確保が困難となっています。

本町においても、保育士、土木・建築分野の技師系職員の確保が喫緊の課題となっています。特に、土木・建築分野の職員不足は、国が進める「国土強靱化計画」の着実な推進が困難となり、結果として国の重要施策の実行そのものに重大な支障をきたす危機的状況にあります。

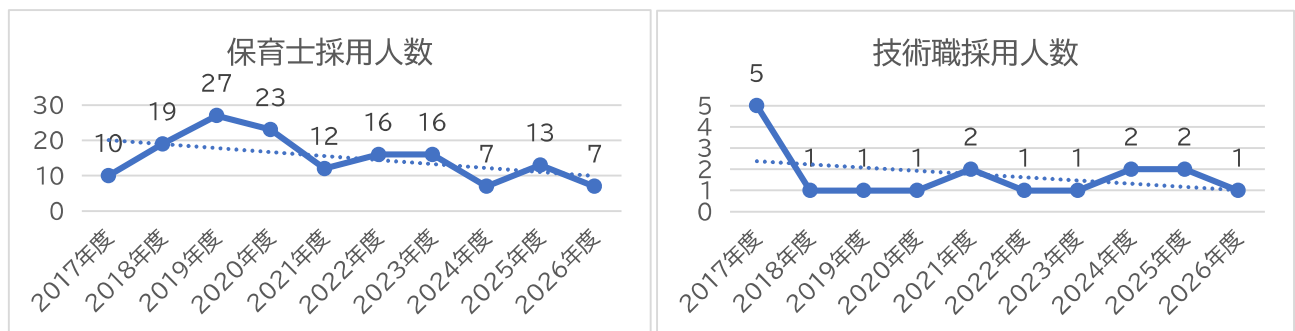
国の施策を地方で確実に実行できるよう、技術職員の安定的な人材確保に向けた実効性ある施策を早急に検討・実施するよう強く要望いたします。

併せて、「東京圏から地方への人の流れ」を創出するための具体的かつ抜本的な施策の展開がより一層必要です。

例えば、保育士、技術職等の地方公務員の担い手を確保するため、キャリアパスとしての魅力と価値を普及・啓発する取組み、地方への U ターン・I ターンをサポートする補助制度等の施策の実施を要望します。

(2) 本町の現状・課題

ア 本町の職員採用数(保育士、技術職)の状況



職員の採用は、保育士、技術職ともに、年度により増減はあるものの、この10年間は減少傾向にあります。

様々な保育ニーズに対応するためには、保育士の確保は重要なものとなります。また、近年、激甚化している災害等に対応するため、土木、建築といった技術職の確保も重要なものとなります。

(3) 国の取組みとどのように一致するか

「地域未来戦略」で示されている「多様性に富んだ地方の実現」、「都市と地方の共生の実現」につながり、「選ばれる地方の実現に貢献する」といった地域未来戦略を推進する取組であると考えます。

本町担当課:政策企画部人事課 部長:鈴木 貴雄 次長:鈴木 恭太 課長:内田 由紀子
0562-83-3111 (jinji@town.aichi-higashiura.lg.jp)

20 投票時間の短縮について

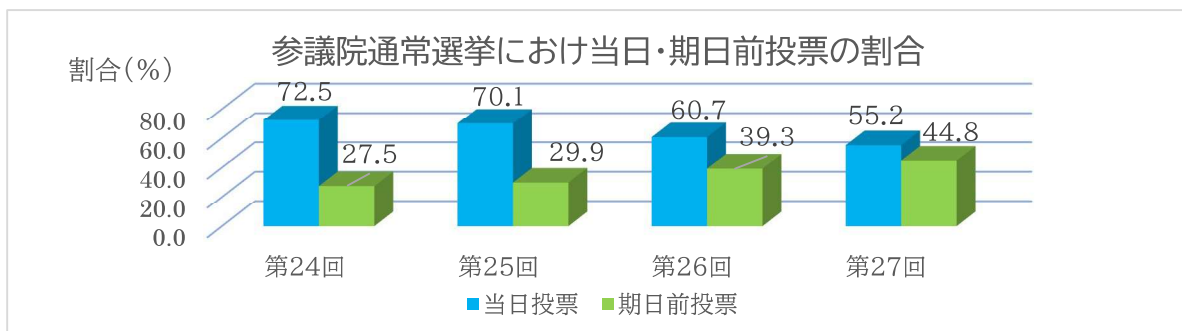
要望先：総務省

(1) 提案・要請事項

現行の公職選挙法は、投票時間を原則午前 7 時から午後 8 時までと定めています。しかしながら、費用対効果と職員の負担軽減、開票の早期化を考慮し、投票時間の短縮(閉鎖時間の繰り上げ)が必要だと考えています。

また、法改正を通じて全国一律で取り組むことで、全国的に開票作業の着手を早めることができます。これにより、国政選挙等において選挙結果の確定が大幅に前倒しされ、有権者に対して速やかに選挙結果を示すことができるという、国全体にとっての大きなメリットが生じます。これらの点と社会環境の変化を踏まえ公職選挙法改正を要望します。

(2) 本町の現状・課題



→当日投票を利用される方の割合は減少傾向にあり、午後7時以降に投票される方の割合も少なくなっています。一方で、期日前投票を利用される方の割合は増加傾向にあります。
→期日前投票所は、毎日午前 8 時 30 分から午後 8 時まで開設しており、有権者の皆さんの予定に合わせて投票できます。

<選挙事務従事者等の状況>

	結 了 時 刻	職員最終退庁時刻
第 27 回参議院議員通常選挙	午前1時 13 分	<u>午前3時ごろ</u>

→開票事務の開始時刻を前倒しすることにより、開票結果を待つ立候補者及び関係者の負担軽減にも大きく寄与します。また、従事者の勤務間インターバルの確保することが可能になります。

(3) 国の取組みとどのように一致するか

内閣府が策定している「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」の目指す基本理念に寄与するものと考えます。

本町担当課：総務部行政課 部長：鈴木 孝使 課長：佐藤 泰匡
0562-83-3111 (gyosei@town.aichi-higashiura.lg.jp)

21 電子投票について

要望先：総務省

(1) 提案・要請事項

本町では、2027年4月執行予定の東浦町議会議員一般選挙及び同年8月執行予定の東浦町長選挙において、電子投票を導入する方針としました。

これは、有権者の投票意思をより確実に反映させるとともに、開票作業の迅速化及び正確性の向上を図るものであり、選挙の信頼性を一層高める先駆的な取組と位置付けています。しかしながら、現行の法制度において電子投票の実施は地方選挙に限定されており、国政選挙における電子投票の導入は認められていません。国政選挙でも電子投票が可能となるよう、関連法令の整備及び財政支援をお願いします。

(2) 本町の現状・課題

ア 電子投票のメリットと選挙ごとに投票方法が異なることの弊害

電子投票は端末で候補者を選択するため、自書式のような記載ミスに等による無効票を防ぎ、有権者の一票を確実に選挙結果へ反映できます。

加えて、文字を書くことが困難な高齢者や障がいのある方々にとっても、画面のタッチ操作によって自らの意思で直接投票が可能となるなど、投票しやすい環境が整備されます。

一方で、選挙ごとに「自書式投票」と「電子投票」投票方法が異なることは、有権者の混乱を招く恐れがあります。こうした課題を解消し、有権者の利便性向上と正確な意思反映を図るため、国政選挙においても電子投票の導入を要望します。

イ 電子投票を導入するための費用(試算)

導 入 費 用	特別交付税	本町負担額
約 1,500 万円	約 1,200 万円	約 300 万円

→特別交付税の算定基準が改定され、交付額が増額されていますが、本町負担分が見込まれるため、更なる増額をお願いします。

(3) 国の取組みとどのように一致するか

「経済財政運営と改革の基本方針 2026」が掲げる自治体 DX の推進に寄与と考えます。

本町担当課：総務部行政課 部長：鈴木 孝使 課長：佐藤 泰匡
0562-83-3111 (gyosei@town.aichi-higashiura.lg.jp)

22 自治体基盤クラウドシステムの戸籍対応について

要望先：総務省、デジタル庁

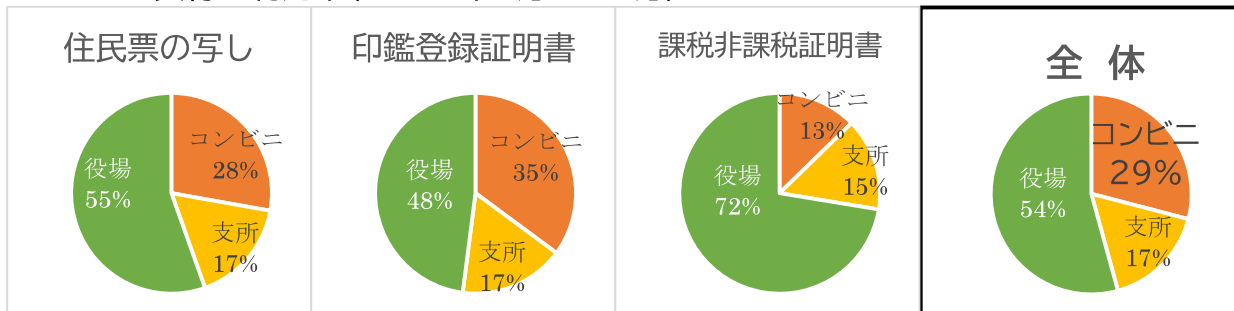
(1) 提案・要請事項

本町では、自治体 DX を推進するため、自治体基盤クラウドシステム(BCL)を利用して、コンビニ交付サービスを導入しました。BCLでは、住民票の写し・印鑑登録証明書・税証明の発行が可能です。戸籍証明書の発行には対応していません。自治体が独自に戸籍証明書の発行に対応するには多額の費用が必要で、町財政にとって負担が大きく対応が困難な状況です。

自治体間における住民サービスの格差が拡大することを防ぐためには、BCL の戸籍対応できるようにお願いいたします。

(2) 本町の現状・課題

コンビニ交付の利用率(2026年3月から5月)



2026年3月から住民票等のコンビニ交付を開始したところ、2026年5月末時点のコンビニでの住民票等の取得率は29%で、今後も増加していくことが見込まれます。

また、本町に住所を有する方のうち、本籍地を町外に置いている方は、全住民の1/4を超える約14,000人で、全国的にも同様と推察します。これらの方は、戸籍証明書(特に戸籍抄本・附票)を取得するには本籍地まで直接出向くか郵送での申請が必要で、大きな負担となります。

戸籍証明書もコンビニで取得可能となると、多くの方の負担の軽減、利便性の向上につながります。

(3) 国の取組みとどのように一致するか

「経済財政運営と改革の基本方針 2026」の「持続可能な地方行財政基盤の強化」に記載がある、「行政サービスの生産性を高めるための改革」に必要な施策と考えます。

本町担当課：総務部住民課 部長：鈴木 孝使 課長：船津 光裕
0562-83-3111 (jumin@town.aichi-higashiura.lg.jp)

23 マイナンバーカードにかかる国庫補助の継続について

要望先:総務省

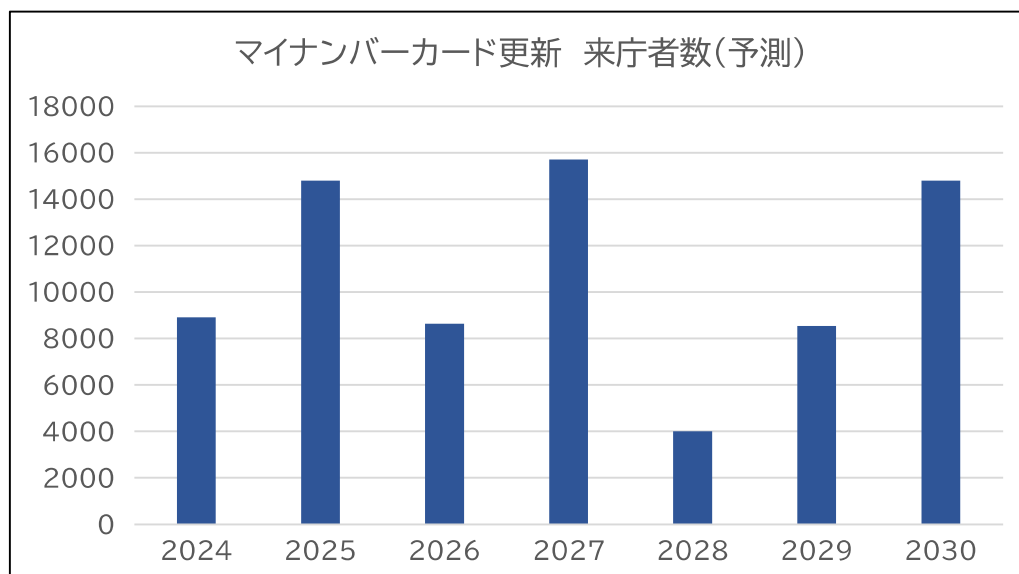
(1) 提案・要請事項

マイナンバーカードの更新事務により業務量が増大しています。また、マイナ保険証など、マイナンバーカードにかかる連携事務が増えていくなかで、端末などの機器にかかる費用や対応するための人件費の増加が今後も見込まれます。

マイナンバーにかかる事務事業費の国庫補助の継続をお願いします。

(2) 本町の現状・課題

ア 本町役場にマイナンバーカードの更新のため来庁された人数・今後の予測人数



年度によって変動がありますが、2027年度には来庁者数が1万5千人を超え、2030年度以降も1万人を超える来庁者が予測されています。(2024年度、2025年度は実績値)

イ マイナンバーカード交付事務費補助金交付額の状況

年 度	交付額(千円)
2023	7,349
2024	7,660
2025	21,947

本町では、毎年度、交付決定額の満額の交付を受けています。ご尽力頂きました皆様感謝申し上げますとともに、今後ともご助力を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 国の取組みとどのように一致するか

本要望は、円滑なカード取得のための申請環境及び交付体制の整備に必要な施策と考えます。

本町担当課:総務部住民課 部長:鈴木 孝使 課長:船津 光裕
0562-83-3111 (jumin@town.aichi-higashiura.lg.jp)

24 一般財源総額の確保について

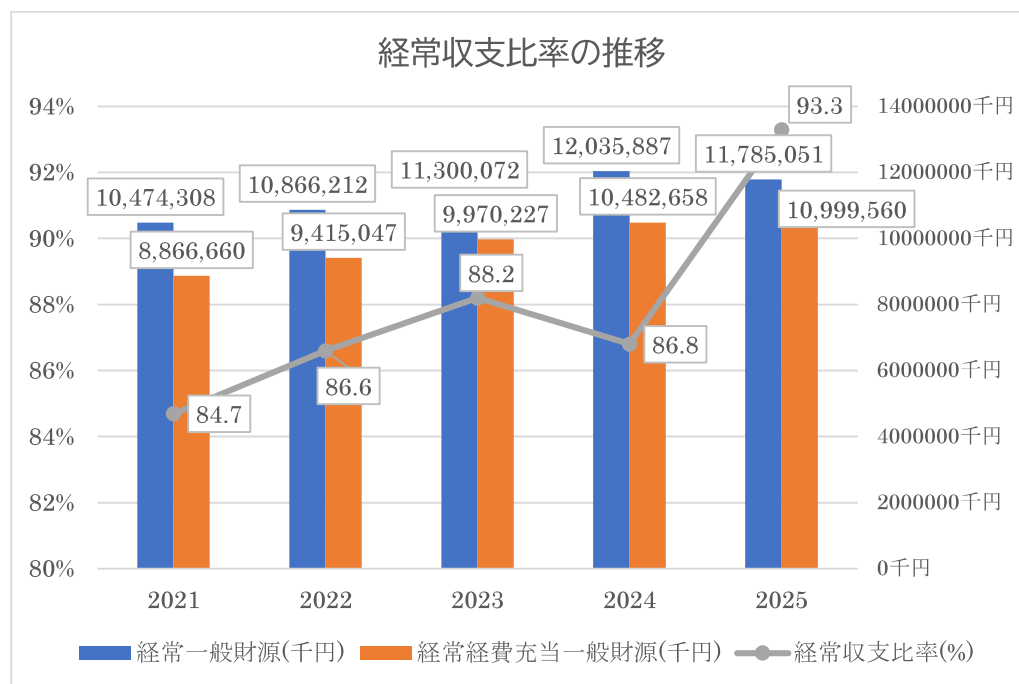
要望先：総務省

(1) 提案・要請事項

地方の歳出の多くを義務的経費が占めている現状にあっては、安定的な財政運営に必要な一般財源の確保が不可欠です。本町においても、今後、社会保障関連経費や公共施設の維持更新経費の増加が見込まれ、必要な財源を圧迫することから、さらに自由度の高い財源の確保が必要となります。今後も引き続き健全な財政運営が可能となるよう地方交付税を含む一般財源総額の確実な確保をお願いします。

(2) 本町の現状・課題

ア 本町の財政状況について(経常収支比率等の推移)



→経常収支比率は高い比率を推移しており、財政の弾力性が失われつつあります。
地域における社会課題へ対応するため、自主的に活用できる財源の確保が必要です。

(3) 国の取組みとどのように一致するか

地方がその地域の特性に合わせた独自の取り組みを行うことで、地域の活性化・社会課題への対応が実現し、地方創生、地方の自立につながります。

本町担当課：政策企画部財政経営課 部長：鈴木 貴雄 次長：鈴木 恭太 課長：中村 陽介
0562-83-3111 (zaisei@town.aichi-higashiura.lg.jp)

財源確保に対してのお礼について（府省庁別）

昨年度、本町では、国庫から以下のとおり補助金の交付を受けました。

財源確保に向けてご尽力頂きました皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともご助力を賜りますようお願い申し上げます。

○ 内閣府

補 助 金 名	本 町 で の 使 い 道	金 額 （千円）
新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）	被災者生活再建支援システム事業、書かない窓口システム導入事業、町立小中学校電子黒板整備事業、コンビニ交付事業	40,657
新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）	スポーツイベント等のイベント開催を通じたにぎわいのあるまちづくり事業、於大の方生誕500年を契機とした「於大のまちひがしうら」PR 事業、於大公園を核とした笑顔と活力に満ちたプロジェクト、「選ばれる愛知」を目指す拠点機能強化事業、住みたいと選ばれるまちをつくる事業	70,379
新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）	避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針に示す避難所設備の充実を図る事業（水循環型手洗いスタンド及び水循環型シャワー並びにスターリンク購入）	3,578
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	物価高騰対応重点支援給付金給付事業調整給付金不足額給付事業、民間保育所等給食材料費の補助、町立保育園給食費の補助、小中学校給食費賄材料費の補助、保育所等給食費軽減対策支援補助金、子ども医療費助成金	134,269

○ 経済産業省

補 助 金 名	本 町 で の 使 い 道	金 額 （千円）
クリーンエネルギー自動車導入促進補助金	電気自動車(1台)の購入	568

○ 法務省

補 助 金 名	本 町 で の 使 い 道	金 額 （千円）
外国人受入環境整備交付金	多文化共生事業(外国人一元的相談窓口設置のためのパソコンや机等の購入)	586

○ 内閣府 こども家庭庁

補 助 金 名	本 町 で の 使 い 道	金 額 (千円)
子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金	保育の質の向上のための研修事業	171
保育対策総合支援事業費補助金	医療的ケア児保育支援事業、保育補助者雇上強化事業	16,960
児童虐待防止等対策総合支援事業費補助金(障害児支援分)	障害者相談支援等事業、地域障害児支援体制強化事業	1,888
児童虐待防止等対策総合支援事業費補助金	発達に特性のあるこどもへのアセスメント等強化事業	144
母子保健衛生費国庫補助金	産婦健康診査、多胎妊婦健康診査、1か月健康診査等	4,126

○ 文部科学省

補 助 金 名	本 町 で の 使 い 道	金 額 (千円)
特別支援教育就学奨励費補助金	小学校における特別支援教育就学奨励費(特別支援学級に在席する児童の学用品費等の補助)	1,538
	中学校における特別支援教育就学奨励費(特別支援学級に在席する生徒の学用品費等の補助)	652
理科教育等設備費補助金	小学校における理科設備(顕微鏡等)の購入 理科実験支援員の配置	1,448
	中学校における理科設備(電流と磁界の実験用具等)の購入	879
GIGA スクール構想支援体制整備事業費補助金	中学校におけるネットワークアセスメント業務委託	282

○ 厚生労働省

補助金名	本町での使い道	金額（千円）
重層的支援体制整備事業 交付金	地域福祉相談支援事業、障害者相談支援 等事業、地域子育て支援拠点事業、利用者 支援事業等	40,486
生活困窮者就労準備支援 事業費等補助金	成年後見制度利用促進体制整備 (知多地域権利擁護支援センター)	626
子ども・子育て支援交付金	病児保育事業、子育て世帯訪問支援事業、 延長保育事業、一時預かり事業、放課後児 童健全育成事業、産後ケア事業等	32,984
疾病予防対策事業費等補 助金	乳がん検診等のクーポン作成・発送・診察 費・再勧奨	331
医療施設運営費等補助金	歯科疾患予防等事業	2,988
障害者地域生活支援事業 費補助金	日常生活用具給付、移動支援事業、成年後 見人制度法人後見支援事業等	9,831

○ 国土交通省

補助金名	本町での使い道	金額(千円)
社会資本整備総合交付金	道路整備 (緒川南北線用地購入、物件移転補償、藤江25号線工事)	11,533
	住環境整備・狭あい道路整備 (工事4件、用地18件、測量等42件)	25,869
	都市公園等・長寿化(施設更新) (遊具改築工事5公園)	16,000
	都市公園等・都市公園 ・於大公園おもしろサイクル広場整備工事 (雨水排水整備、電気設備整備、園路舗装、サービス設備整備、サイクルセンター建築工事)、於大公園再整備工事 ・於大公園バーベキュー広場整備工事(構造物取壊し、園路舗装、サービス施設整備)、於大公園再整備工事	80,000
	住環境・住宅ストック (木造住宅耐震診断21戸、木造住宅耐震改修4戸、除却4戸、ブロック塀除去3件)	3,379
	空き家再生等 (民間不良住宅等除去費補助1戸)	100
	通常の下水道事業 (緒川ポンプ場ポンプ増設実施設計)	8,500
	下水道ストックマネジメント支援制度 (ストックマネジメント計画見直し、実施設計、公共下水道改良工事等)	28,750
	防災・安全交付金 (水道管の耐震化)	58,647
道路メンテナンス事業補助金	道路メンテナンス事業 (黒鳥橋他修繕設計)	855
社会課題対応型都市公園機能向上促進事業費補助金	於大公園ふれあいファミリー広場整備工事 (園路舗装、植栽工)、於大公園再整備工事	221,165
大規模下水道管路特別重点調査等	大規模下水道管路特別重点調査 (大規模下水道管路の緊急調査)	1,500
交通安全対策補助金(地区内連携)	交通安全対策事業 (蓮池岡田川線工事)	8,611

(基幹システム標準化、給付金事業等の財源として交付された一部補助金を除く。)

桜並木と於大まつり

東浦町は、徳川家康の母「於大の方」が生まれ育った地であることから、1989年度(平成元年度)に地域振興のために行われた「ふるさと創生一億円事業」を活用し、町の中心部を流れる二級河川明德寺川兩岸を歴史散策路「於大のみち」として整備しました。

於大のみちは河川の兩岸約二キロメートルにわたっており、於大の方の生い立ちをイメージして設置された彫刻や於大の方と家康が秘かに再開したエピソードをもとに作成されたモニュメントなどが設置されています。

また、八重桜の植樹も行っており、カンザンやフゲンゾウなど約 20 種類、330 本の八重桜が植樹されています。

八重桜が満開を迎える4月中旬には、歴史と文化の春まつりとして「於大まつり」が開催されるなど、東浦町の名所の一つとして、町内外から多くの方が訪れるスポットとなっています。



◀於大まつりでは、抽選で選ばれた於大姫や、鎧を着た武者が満開の八重桜の下を練り歩きます。

▼八重桜が咲き誇る於大のみち



▲於大の方の生い立ちをイメージして設置された彫刻

